

●7月30日(土)

10:00 受付……【場所】のと里山空港ターミナルビル 41会議室

10:30 セミナー開始……開会あいさつ、オリエンテーション

10:40 **講義1 「能登の里山里海の魅力」**……【講師】西川 透（石川県里山振興室長）

11:10 **講義2 「農家民宿開業者の体験談」**……【講師】長竹幸子（能登島サンスーシイ）

▶能登島サンスーシイ（七尾市能登島にある、宿泊もできるフレンチレストラン！）

東京・赤坂でレストランを経営していたご夫婦が、能登の新鮮な魚介類・野菜、美しい里海の景色に惚れ移住。平成26年秋、能登島産の旬の食材をふんだんに使ったフレンチ&農漁家民宿をオープンし、県内外から多くの客が訪れています。



12:00 **昼食**（「かあさんの学校食堂」のお弁当をご用意）

▶かあさんの学校食堂（穴水町にある、廃校を利用した食堂！）

地元の元気な6人のお母さんたちが、地元食材を使って体にやさしく、心がほっこりする家庭料理を作っています。地元住民はもちろんのこと、観光客にも人気のお料理です。



13:00 **農家民宿開業にあたっての必要な手続きについて**……農家民宿開業の流れ、旅館業に関する法令等

15:05 休憩

15:15 **市町の農家民宿開業、移住支援制度などについて**

15:45 **先輩移住者の体験談**……【登壇者】齋藤 義己（穴水町）、山本 亮（輪島市）

▶齋藤 義己（静岡 >>> 穴水町）

アパレルの仕事辞め、漁師に転身。牡蠣の養殖を基盤に、魚の漁も行っています。昨年には、カキ料理の店「コーステーブル」をオープンしました。



▶山本 亮（東京 >>> 輪島市）

東京から輪島市の地域おこし協力隊として能登へ。「百笑の里山づくり」と銘打ち、米のブランド化を図る「能登輪島米物語」等、地元農家との交流を図る活動を行っています。



16:15 講義終了、農家民宿「春蘭の宿の海の家」へバスで移動

17:45 **交流会開催**……【場所】春蘭の宿の海の家（穴水町竹太）

20:00 解散 ※希望者は農家民宿にて宿泊

▶春蘭の宿（能登町にある、農家民宿群！）

集落を挙げて農家民宿に取り組む。自然以外に何も無いことを逆手に取り、昔ながらのありのままの暮らしでのもてなしが評判を呼び、国内外から年間約1万人が訪れます。現在、47軒の農家民宿が営まれており、里海での体験を増やすことを目的に、平成27年に海の家を開業しました。



世界農業遺産「能登の里山里海」地域づくりセミナー プログラム

●7月31日(日)

早 朝 起床、野菜の収穫体験、朝食

09:00 宿泊先出発、バスで移動

10:00 能登地区における地域づくり体験①……ボラ待ちやぐらのぼり、ボラ漁体験 等
【場所】穴水町新崎・志ヶ浦地区

▶ボラ待ちやぐら

海の上に立つやぐらの上から終日ボラ（魚の一種）の群れを見張り、網をたぐるという日本最古と言われる漁法が行われています。きれいな里海で育ったボラは、甘くて、歯ごたえも良く、絶品。やぐらから見渡す絶景の穴水湾をご覧ください。



12:00 昼 食……【場所】なぎさガーデン（穴水町曾福）

▶なぎさガーデン（地域おこし協力隊OGが経営する炭火焼カフェ！）

東京から地域おこし協力隊として穴水町に赴任し、定住。今年、牡蠣やブリなど地元の鮮魚を使った食事やBBQが楽しめるカフェをオープン。運がよければ、その日獲れたボラを使った料理を味わえるかも……。



13:30 能登地区における地域づくり体験②……輪島市三井での取組体験 等
【場所】輪島市三井地区

▶輪島市三井地区

この地区には、茅葺の古民家や、豊かな里山の風景を眺めながら美味しい食事をいただけるカフェなど、ゆったりと過ごせるスポットが盛りだくさん。移住者が多いことも特徴です。地域住民と交流しながら、能登の里山に癒されること間違いなしです。



15:30 セミナー終了

16:00 のと里山空港 解散

世界農業遺産「能登の里山里海」

石川県の能登半島に広がる、自然と人の暮らしが調和した「能登の里山里海」は、平成23年に日本で初めて世界農業遺産に認定されました。世界農業遺産は、伝統的な農業や文化・風習、美しい景観などが大切に守り伝えられてきた地域を、未来に引き継ぐために認定するもの。つまり、能登の人々が昔から続けてきた里山里海での暮らしが世界的に認められたのです。知っているようで意外と知らない、先人の知恵がぎゅっとつまった能登の魅力を発見することができるでしょう！



白米千枚田



海女漁



揚げ兵式製塩法



キリコ祭り